

2020年3月期 決算説明会

2020年6月1日



株式会社 不動テトラ

(ご説明資料)

- **2020年3月期 決算説明会**

【目次】

1. 中期経営計画の進捗状況
2. 全社業績
3. セグメント別業績
4. トピックス（防災・減災関連案件）
5. 主な完成案件、受注工事
6. トピックス（社会貢献）
7. その他

(ご参考資料)

- **2020年3月期 決算短信**
- **2020年3月期 決算補足説明資料**
- **CSRレポート**

中期経営計画（2018～2020年度）の概要

○基本方針

- ①有形無形の経営資源への戦略的投資及び収益基盤の多様化に取り組む
- ② ESGを基本としたCSR経営により、ステークホルダーから一層信頼される会社づくりを目指す
- ③資本コストを意識した経営管理体制を構築する

○数値目標（連結ベース）

	中期経営計画 (2018～2020年度)	2018年度の成果	2019年度の成果
業績目標	3か年での営業利益 100億円以上	営業利益 35億82百万円	営業利益 44億97百万円
資本効率目標	自己資本当期純利益率（ROE） 8%以上	自己資本当期純利益率（ROE） 9.6%	自己資本当期純利益率（ROE） 10.4%
株主還元目標	総還元性向 50%程度	総還元性向 49.7%	総還元性向 49.6%予定

当社グループの業績につきましては、
 受注高は707億円（前期比18.3%減）となりましたが、期首の手持ち受注高が772億円と高水準な状況であったことから、
 売上高は712億円（前期比6.1%増）と増収となりました。
 また、利益面では工事採算性を良好な状態で維持できたことや、ブロック事業が増収に転じたことにより営業利益は45億円
 （前期比25.5%増）、経常利益は44億円（前期比21.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は27億8千万円
 （前期比13.9%増）とそれぞれ増益となりました。

（単位：億円）

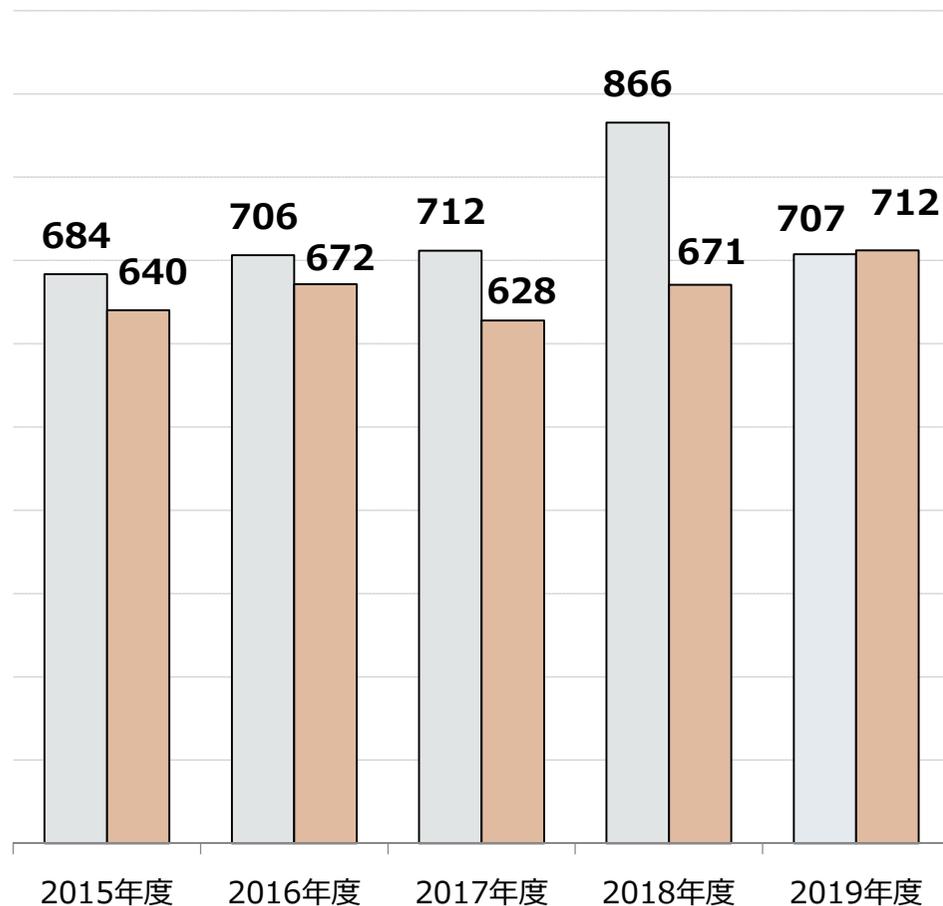
指標	中期経営計画			実績	
	2018年度	2019年度	2020年度	2018年度	2019年度
期首手持ち受注高	578	548	552	578	772
受注高	670	710	715	866	707
売上高	700	705	720	671	712
営業利益	32.0	33.5	34.5	35.8	45.0
（率）	4.6%	4.8%	4.8%	5.3%	6.3%
当期純利益	21.0	22.5	23.0	24.4	27.8
ROE	8.3%	8.5%	8.4%	9.6%	10.4%

全社業績（連結）

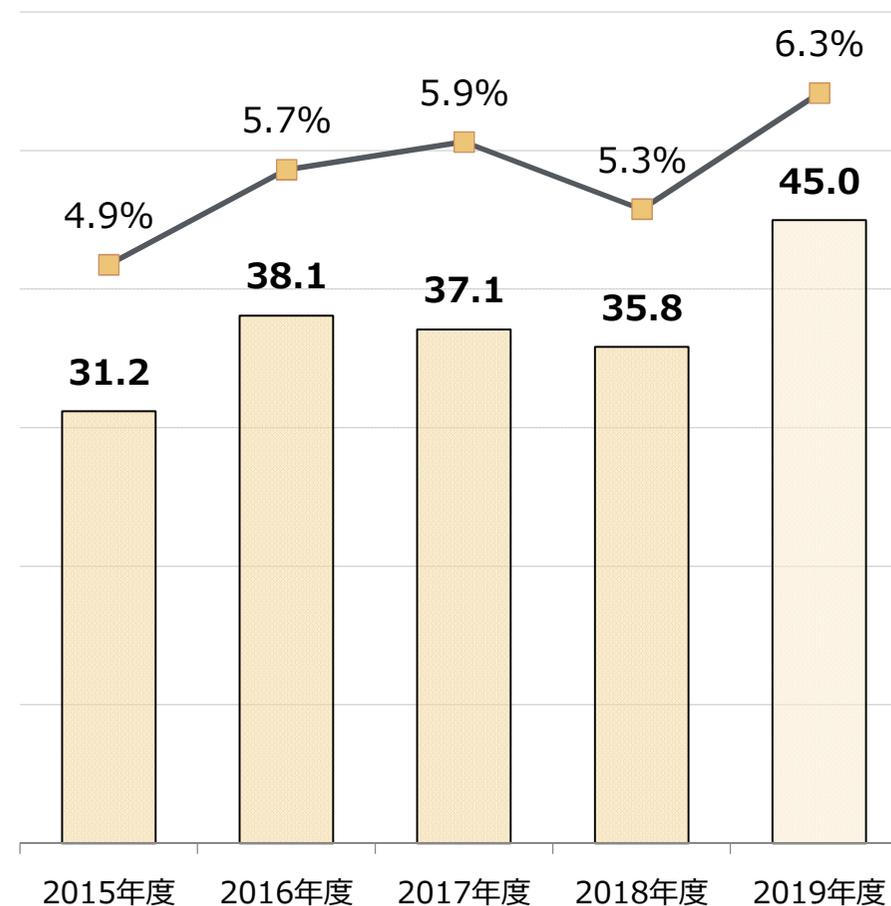


株式会社 不動テトラ

□ 受注高（億円） □ 売上高（億円）



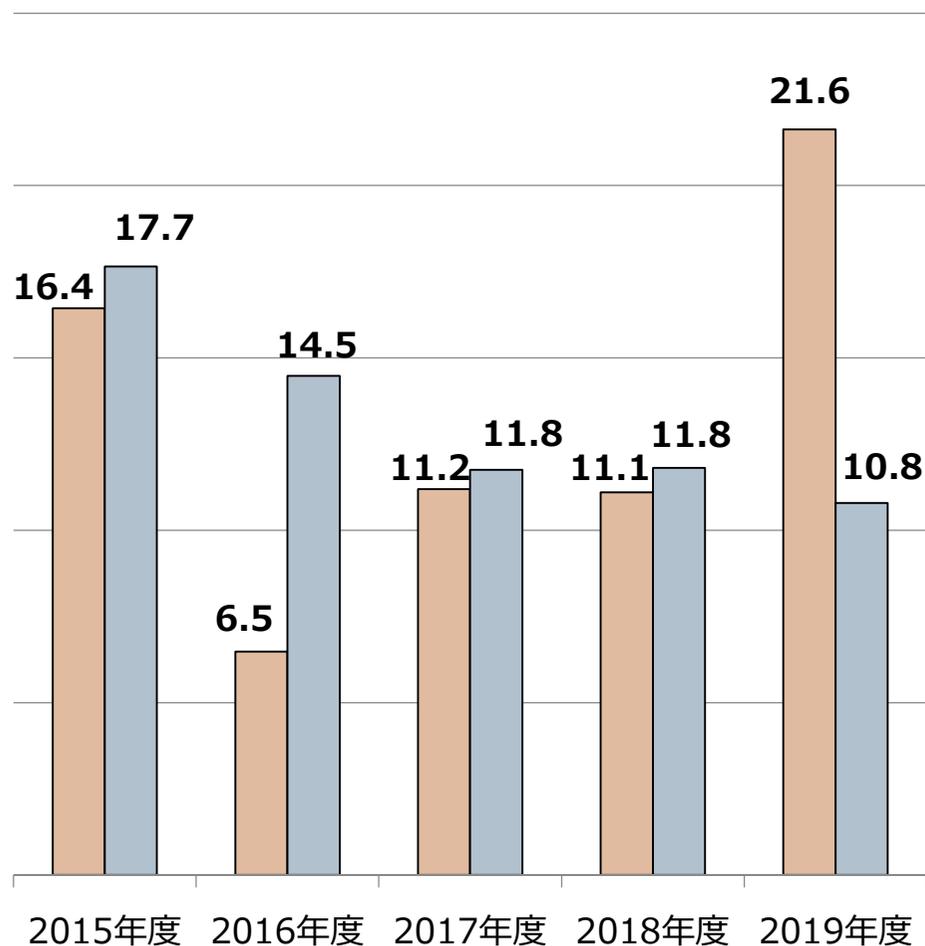
■ 営業利益（億円） — 営業利益率（%）



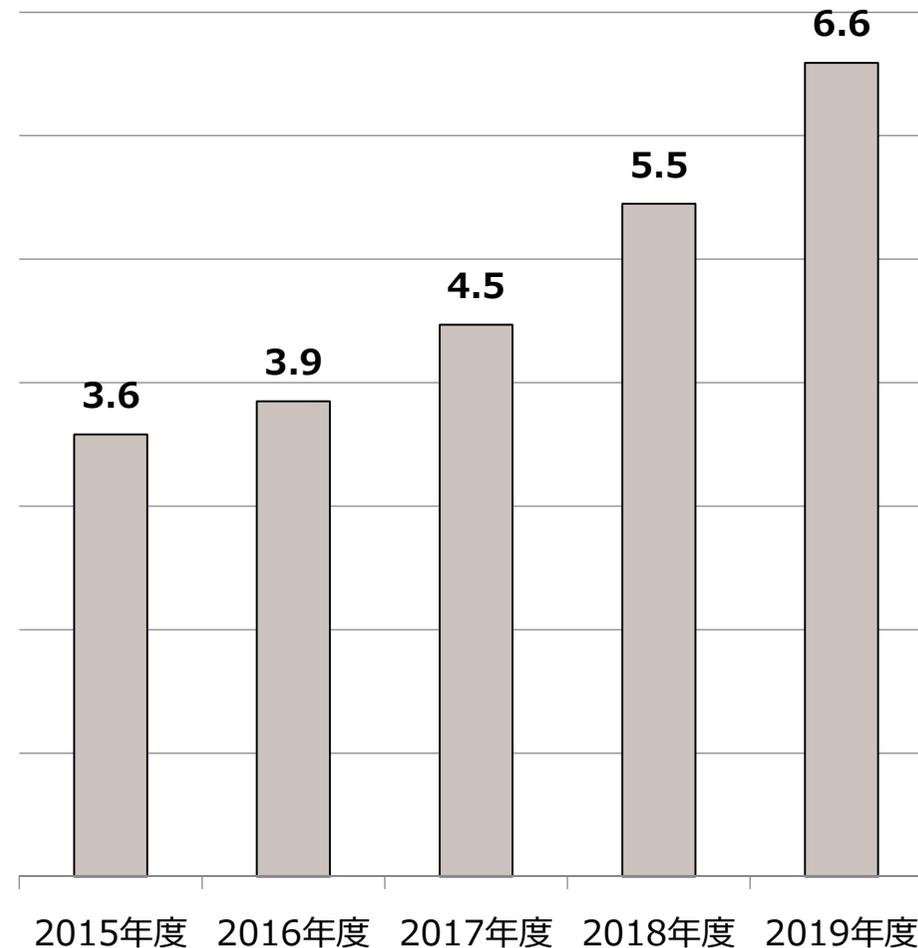
全社業績（連結）



■ 設備投資（億円） ■ 減価償却費（億円）



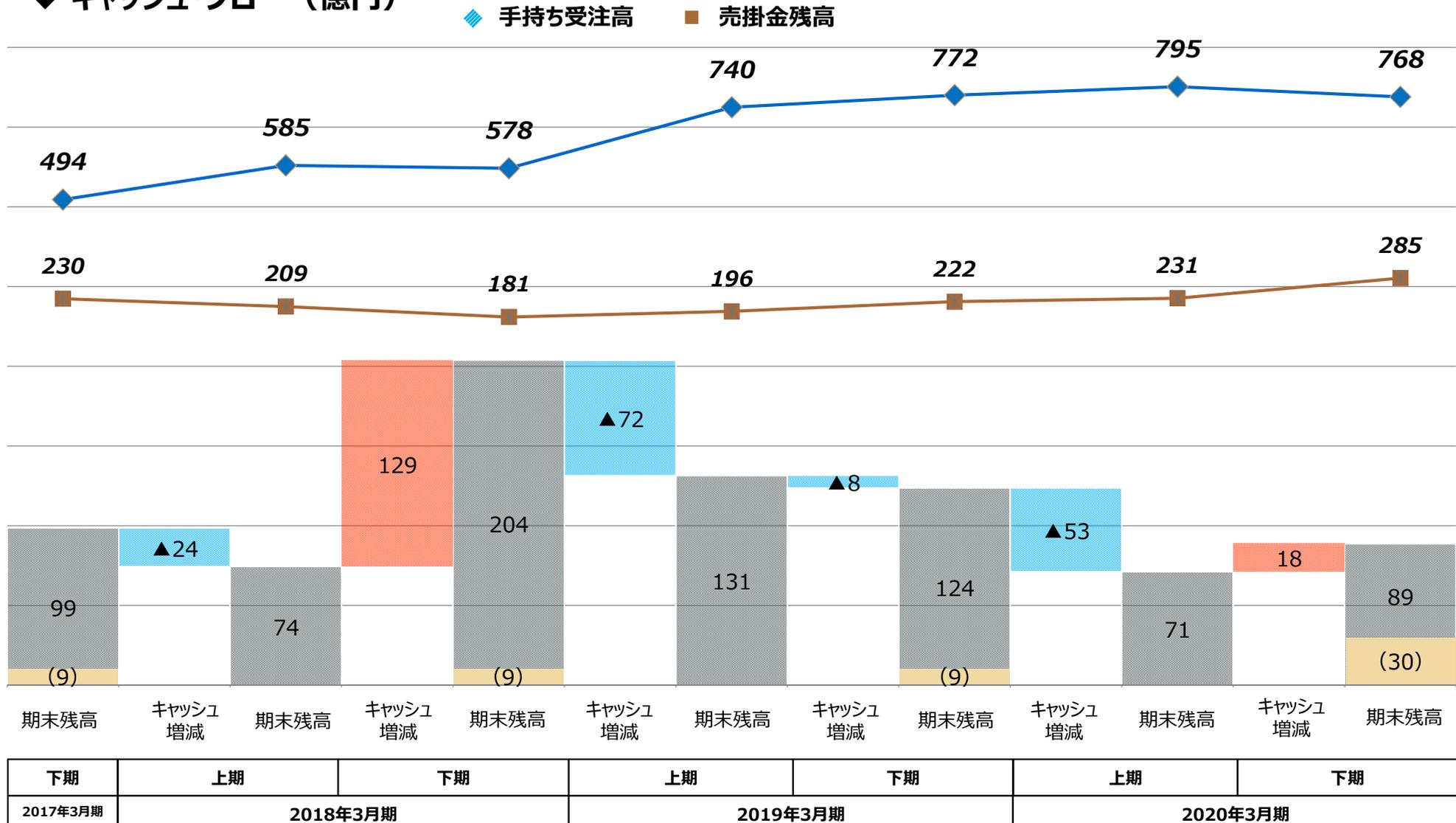
■ 研究開発（億円）



全社業績（連結）



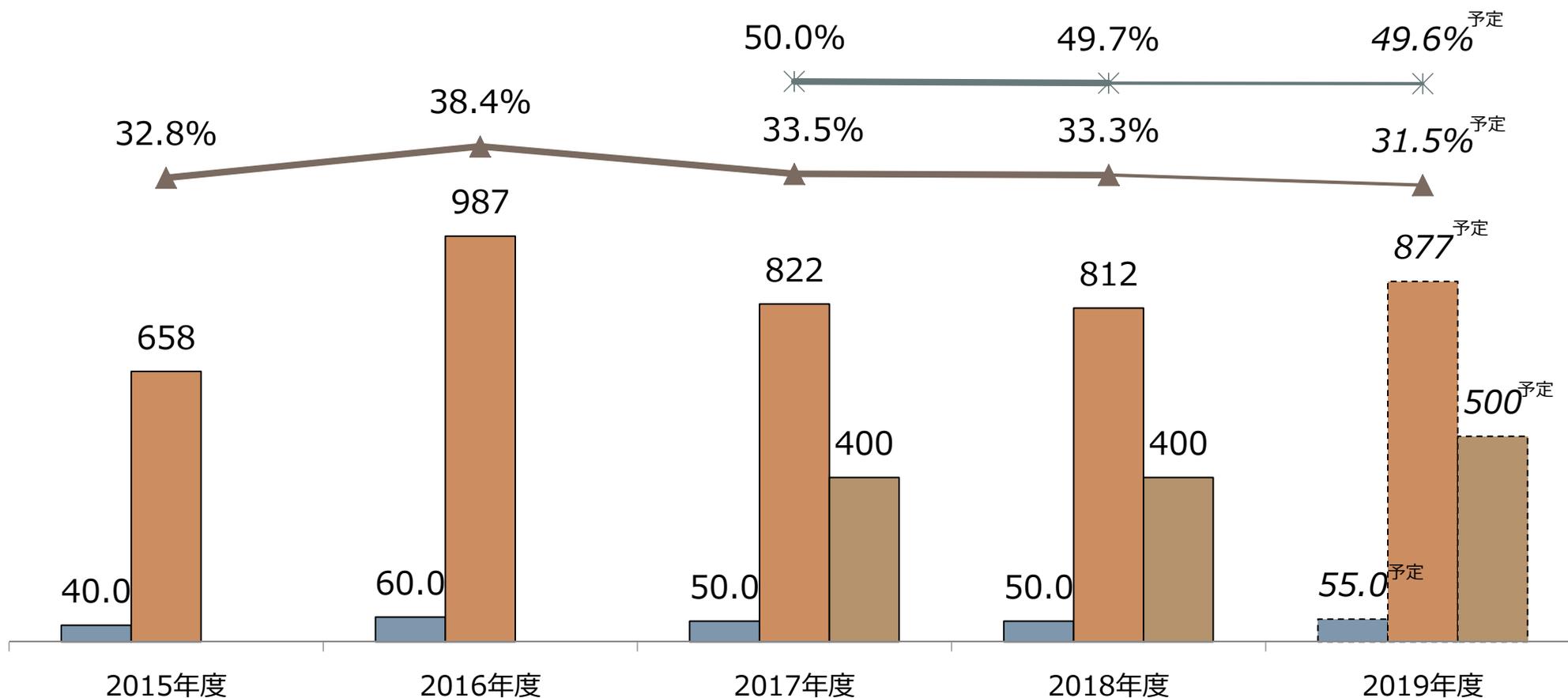
◆ キャッシュ・フロー（億円）



■ …借入金残高

◆ 株主還元状況

■ 一株当たり配当金（円/株）
 ■ 配当金総額（円）
 ■ 自己株式取得額（百万円）
▲ 配当性向（%）
 ✱ 総還元性向（%）



※10周年記念配当含む

セグメント別業績



(単位：億円)

	2016年3月期 通期実績	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績
期首手持ち受注高	416	459	494	578	772
土木事業	346	332	308	413	600
地盤改良事業	65	121	181	163	170
ブロック事業	6	7	6	2	5
受注高	684	706	712	866	707
土木事業	318	342	376	511	367
地盤改良事業	321	320	308	321	305
ブロック事業	48	44	28	35	36
売上高	640	672	628	671	712
土木事業	331	367	271	324	342
地盤改良事業	264	260	326	314	332
ブロック事業	47	45	31	32	37
売上総利益	98	117	111	108	120
(率)	(15.4%)	(17.4%)	(17.7%)	(16.1%)	(16.8%)
土木事業	33	49	35	32	34
(率)	(10.0%)	(13.3%)	(12.9%)	(9.9%)	(9.8%)
地盤改良事業	44	51	65	62	68
(率)	(16.6%)	(19.6%)	(19.9%)	(19.7%)	(20.4%)
ブロック事業	20	16	13	13	17
(率)	(42.5%)	(36.4%)	(41.3%)	(39.5%)	(45.0%)
販売費および一般管理費	67	79	74	72	75
営業利益	31	38	37	36	45
土木事業	17	30	15	11	13
地盤改良事業	16	19	32	27	32
ブロック事業	▲ 0.3	▲ 1.5	▲ 1.7	1.2	4.9

※全社計には3セグメント以外の数値及び連結調整額が含まれるため、3セグメントの合算値と全社計は一致していません。

(土木事業)

受注高は、前期にあった大型民間工事がなく368億円（前期比28.0%減）となりましたが、売上高は、豊富な期首手持ち受注高から342億円（前期比5.8%増）と増収となったことで、営業利益は、13億円（前期比13.6%増）と増益となりました。

(地盤改良事業)

受注高は、一部工事の時期ズレの影響により305億円（前期比5.0%減）となりましたが、売上高は、工事の進捗が順調で332億円（前期比5.8%増）と増収となったことで、営業利益は、32億円（前期比19.3%増）と増益となりました。

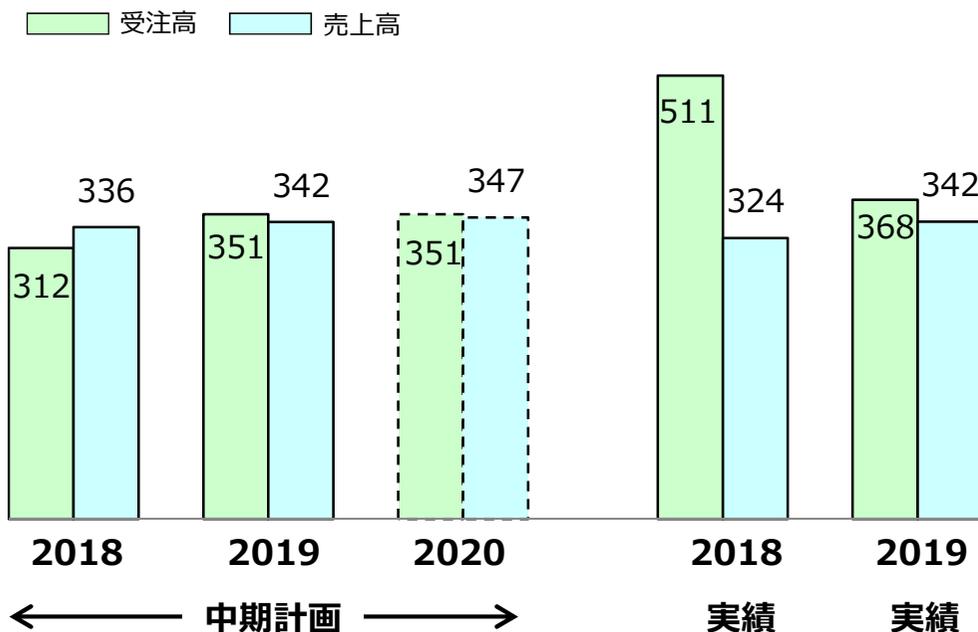
(ブロック事業)

受注高は、型枠賃貸・商品販売ともに災害復旧需要などがあり36億円（前期比4.9%増）となり、売上高は、37億円（前期比14.7%増）と増収となったことで、営業利益は、4億9千万円（前期比321.9%増）と増益となりました。

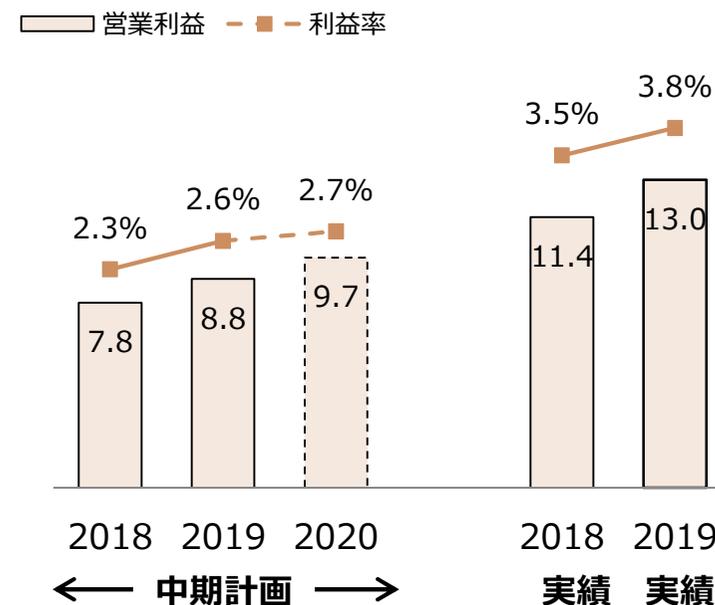
事業方針	長期安定性の確保（受注、利益、人員）～「守り」から「攻め」へ～
基本戦略	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業規模の拡大 ▶ 発注者ニーズに対応した関連技術の積極導入 ▶ 人的資本の充実（採用・育成） ▶ 生産性向上への取り組み

◆ 年度別数値目標（単位：億円）

【 受注高・売上高 】



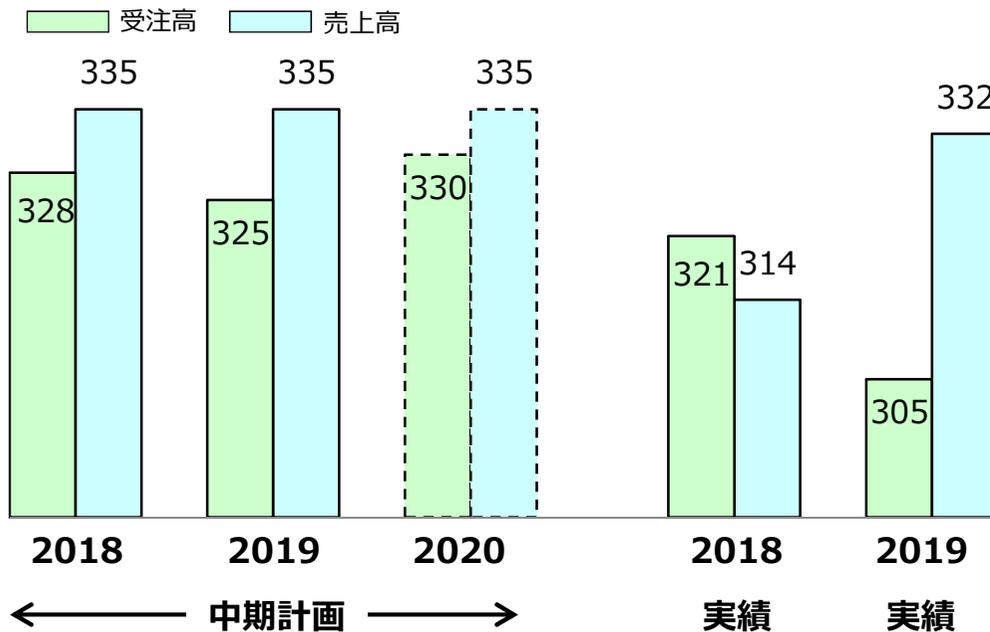
【 営業利益・率 】



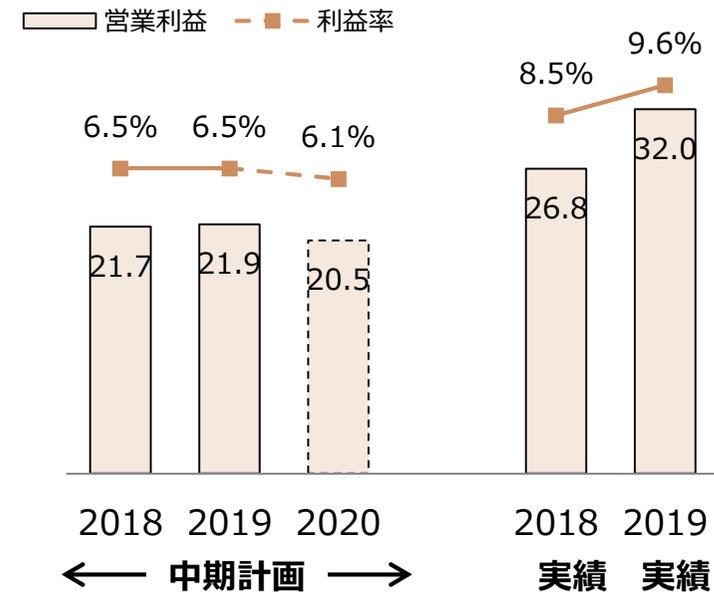
事業方針	持続的事業展開を可能とする体制強化と事業領域の拡大	
基本戦略	▶ 体制強化	・施工体制、設備及び研究開発の強化
	▶ 事業領域の拡大	・競争優位性の維持 ・周辺領域への展開 ・海外事業の強化（東南アジア・米国）

◆ 年度別数値目標（単位：億円）

【受注高・売上高】



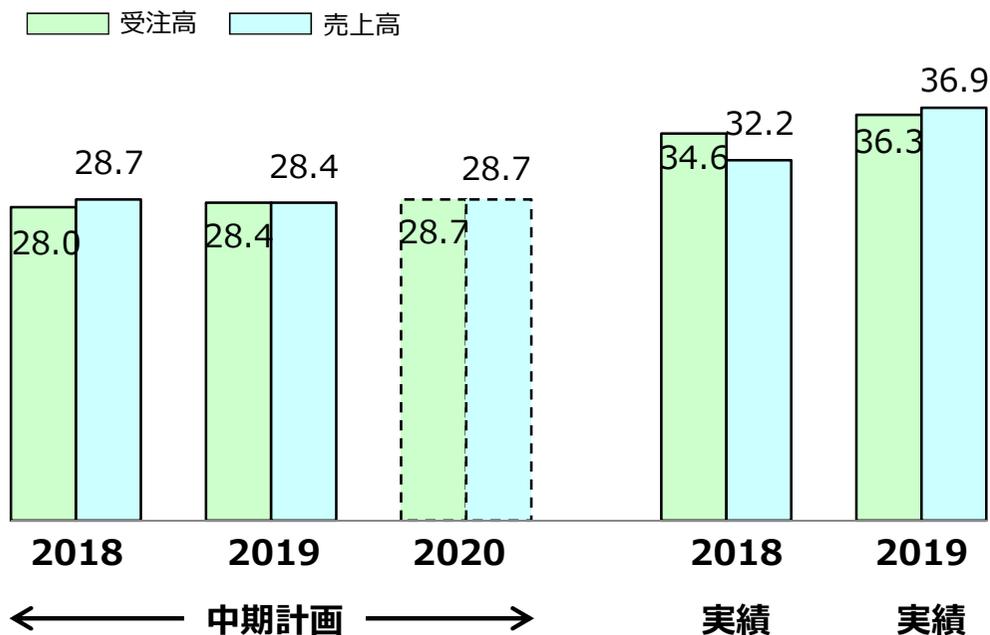
【営業利益・率】



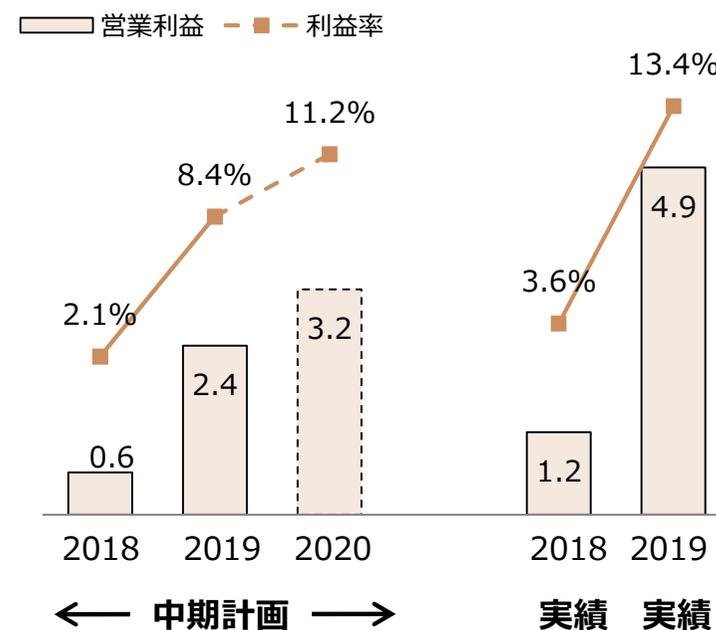
事業方針	技術に裏付けされた製品により安定した収益基盤の構築
基本戦略	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ICTを活用した営業強化 ▶ 二次製品需要への対応 ▶ 砂防市場への注力 ▶ 海外市場におけるロイヤリティ収入・O D A 案件の強化

◆ 年度別数値目標 (単位: 億円)

【受注高・売上高】



【営業利益・率】



台風等による溢水対策事業 八千代1号幹線浸水対策調整池築造工事

千葉県八千代市において八千代市発注の「八千代1号幹線浸水対策調整池築造工事」が完成しました。本工事は2013年10月の台風26号による高津川の溢水で、甚大な被害となったことから、高津川(八千代1号幹線)沿線の浸水被害軽減対策を目的に、大雨時に一時的に雨水を溜める貯留施設として、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、大和田南小学校の校庭下に調整池(15,500m³)を築造した工事です。小学校での工事で、資機材の搬出入時は通学する児童の交通事故防止に配慮するとともに、狭いやードでの施工でしたが、クレーン仕様、機械配置の工夫により、無事故・無災害を達成。全校児童を対象に現場見学会を開催し、各方面から高評価をいただきました。完成後は周辺地域の床上浸水被害が予防され地域住民の安心・安全が図られることが期待されています。

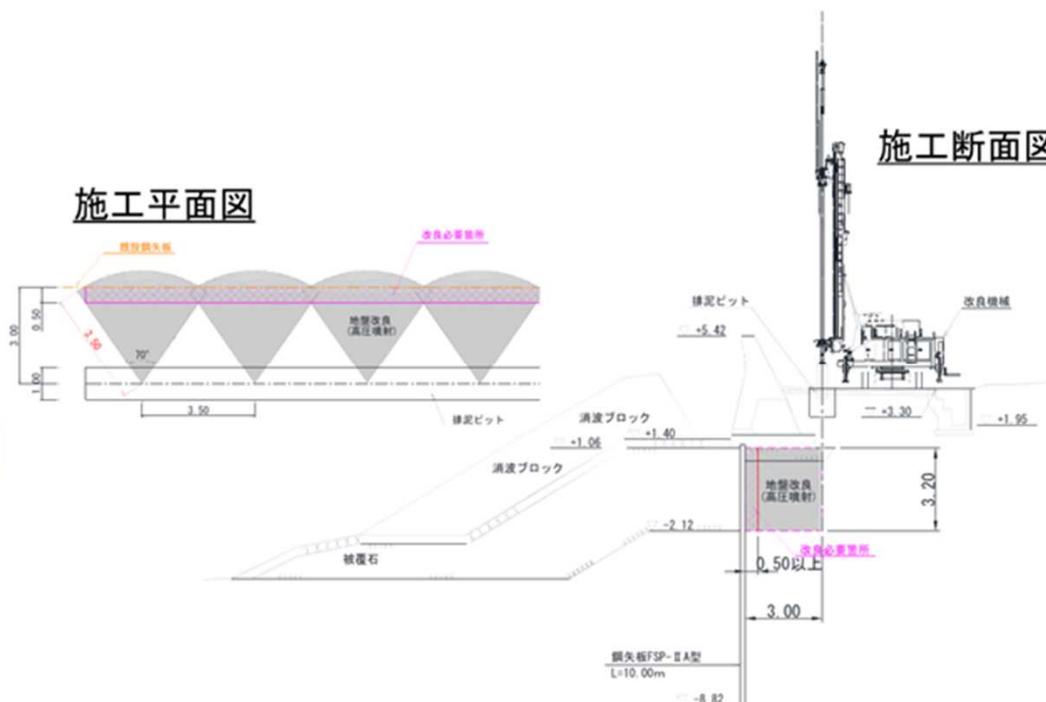


施工状況空撮

事業主体／千葉県八千代市上下水道局
施工場所／千葉県八千代市立大和田南小学校他

南海トラフ地震に備える護岸補強工事 (平成30年度大分港海岸(津留地区)護岸(改良)地盤改良工事(第2次))

南海トラフ地震・津波や台風による高潮に備えるため、大分港海岸では地域の安全・安心を守るため、海岸保全施設の整備が実施されています。津留地区では老朽化した既設鋼矢板からの吸出しによって、水叩きの空洞化や陥没が発生しており、護岸の倒壊に繋がる恐れがあるため、吸出し防止対策としてFTJ-FAN工法が採用されました。工法の特徴を生かし、狭隘な施工現場において既設護岸直下を扇形に地盤改良することにより、従来工法よりも経済的かつ工期の短縮を実現しました。



事業主体：国土交通省九州地方整備局
施工場所：大分県別府市

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づく波浪対策事業 酒田港・秋田港でのテトラポッドの採用

近年激甚化している災害により全国で大きな被害が頻発している状況から、2018年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」は、(1)防災のための重要インフラ等の機能維持及び(2)国民経済・生活を支える重要インフラ等の機能維持の観点から、特に緊急に実施すべきハード・ソフト対策について、2018年度から2020年度までの3年間で集中的に実施するものです。

本対策に基づき、酒田港(山形県)、秋田港(秋田県)では、波浪に対する防波堤の安定性および港内静穏度の向上による、自然災害リスクに対する防災・減災並びに荷役作業の効率化を図る目的で、50t型テトラポッドが採用され、防波堤の整備工事が進められています。



事業主体：国土交通省東北地方整備局
施工場所：山形県酒田市

◆常磐自動車道 平窪工事



工事名称：常磐自動車道 平窪工事

事業主体：東日本高速道路株式会社東北支社

施工場所：福島県いわき市

◆平成30年度名瀬港(本港地区)岸壁(-7.5m) (改良)工事(第3次)



工事名称：平成30年度名瀬港(本港地区)岸壁(-7.5m)
(改良)工事(第3次)

事業主体：国土交通省九州地方整備局

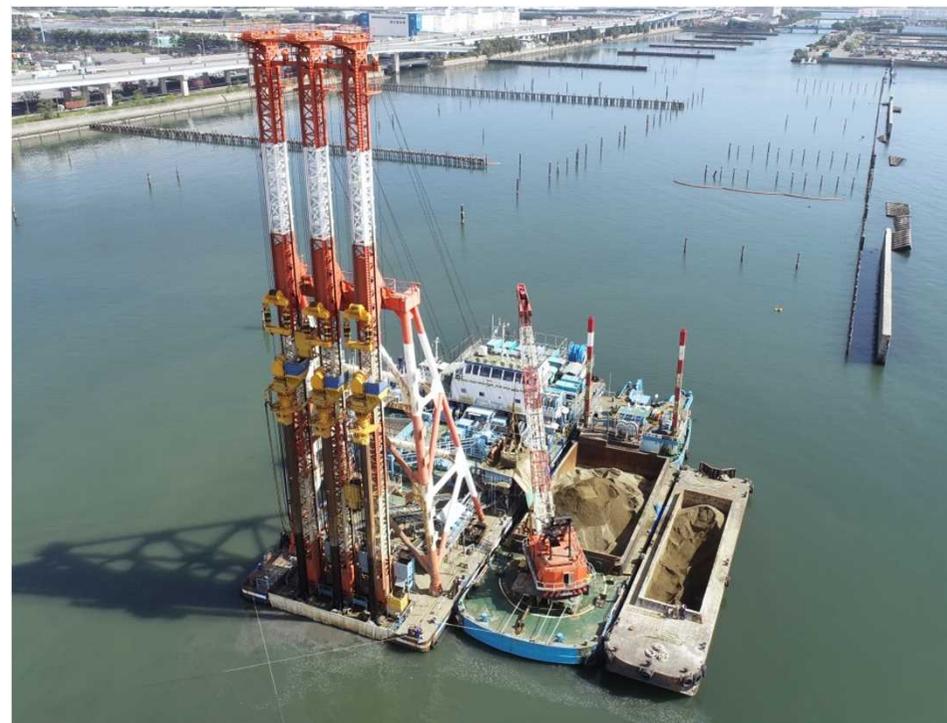
施工場所：鹿児島県奄美市

◆旭市新庁舎建設建築工事



工事名称：旭市新庁舎建設建築工事
事業主体：旭市
（元請会社：奥村・阿部特定工事共同企業体）
施工場所：千葉県旭市

◆弥富ふ頭第1貯木場北側地盤改良工事（その2）



工事名称：弥富ふ頭第1貯木場北側地盤改良工事（その2）
事業主体：名古屋港管理組合
（元請会社：みらい建設工業株式会社）
施工場所：愛知県名古屋市

◆焼津漁港水産流通基盤整備(特3種外郭) 焼津南防波堤(改良)工事(粘り強い対策工)



工事名称：焼津漁港水産流通基盤整備(特3種外郭)
焼津南防波堤(改良)工事(粘り強い対策工)

事業主体：静岡県

施工場所：静岡県焼津市

◆和歌山下津港 港湾施設整備(推進費)工事



工事名称：和歌山下津港 港湾施設整備(推進費)工事

事業主体：和歌山県

施工場所：和歌山県和歌山市

主な受注工事



工事名称	事業主体	施工場所
北海道新幹線 国縫トンネル	鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局	北海道山越郡 長万部町
呑川増強幹線工事	東京都下水道局	東京都目黒区～ 東京都世田谷区
隈上川長野伏せ越し改築工事	国土交通省九州地方整備局	福岡県うきは市
姉崎火力発電所発電設備建設土工事	株式会社JERA (元請会社：鹿島建設株式会社)	千葉県市原市
淀川左岸線(2期)1工区堤防整備他工事	国土交通省近畿地方整備局 (元請会社：東亜建設工業株式会社)	大阪府大阪市
医療法人徳洲会鹿児島徳洲会病院移転新築工事	医療法人徳洲会 (元請会社：株式会社桜木組)	鹿児島県鹿児島市

現場見学会 八千代1号幹線浸水対策調整池築造工事



調整池の壁に名前を書き込む児童たち

八千代市発注の「八千代1号幹線浸水対策調整池築造工事」は、大和田南小学校の校庭下に調整池(15,500m³)を築造した工事です。

全校児童を対象に現場見学会を開催し、大和田南小学校の校長先生をはじめ先生方と1年生～6年生の全児童約800名の皆さんに見学していただきました。

児童は、本工事の調整池の役割を学び、調整池の壁に自分の名前を書き込みました。貴重な体験ができて楽しかったと喜びの言葉と、感謝のお手紙もいただきました。



施工状況空撮

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校への目杭の発注(ソイルテクニカ)

ソイルテクニカでは社会貢献活動の一環として、1995年5月から鹿児島大学教育学部附属特別支援学校に地盤改良の杭の打設目印となる目杭を発注しており、今年で26年が経過しました。

今年も東京および大阪機械センター宛に、同校からお礼状と生徒の皆さんが作業学習の一環として制作された干支の置物をお送りいただきましたのでご紹介します。めぐい作業は生徒の皆さんの育成の機会として活かされ、目杭の購入費は校外での買い物学習や公共施設の利用学習に活用されています。



生徒さんが制作した干支の置物

校長先生からのお礼状



鹿児島港湾・空港整備事務所開催の出前講座への協力

2019年10月11日、国土交通省九州地方整備局鹿児島港湾・空港整備事務所が奄美市名瀬の伊津部小学校で6年生41名を対象に、出前講座「港の役割を学び、消波ブロックを作ってみよう！」を開催し、当社も取り組みに協力しましたのでご紹介します。

講座では、同事務所職員による港の役割や重要性に関する講話が行われ、当社は水槽を使って、波を打ち消すブロックの効果の説明、テトラポッドの模型製作体験の講師を務めました。

当社職員指導の下、児童たちは各自好きな色のテトラポッドの模型を懸命に製作。水槽実験で一人ずつ波を起こすと、消波ブロックが発揮する効果に驚いていました。講座の最後には記念として、テトラポッドの消しゴムとストラップを配布しました。校長先生をはじめ他の先生方にもご参加いただき、児童からも感謝の言葉をいただきました。



- 本資料に記載されている戦略や計画、数値目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、経営環境の変化等によって変動する可能性がありますことをご承知おきください。



